



議会だより特集



未来を担う小学生たちのまちづくりを学ぶまなざし

子どもたちの傍聴体験

下諏訪北小学校 6 年生の児童 18 名が町議会 6 月定例会本会議の議案質疑を傍聴しました。6 年生の児童たちは現在、総合的な学習の時間で町の課題を調べています。社会科の授業で地方議会について学んでおり、そこで今回本会議の傍聴に来てくれました。

児童たちは初めて入る議場に少し緊張した様子でしたが、議員の発言に真剣に耳を傾けながら熱心にメモを取る姿も見られました。質疑では、児童たちも毎日学習に使用している「小中学校第 2 期一人一台タブレット購入」についての質問もあり、身近な審議内容に町議会の雰囲気を体感してくれたようです。

傍聴後の感想では、「町議会ではこんなふうに決められているんだ!」「質疑がひとつひとつとても早かった!」など、まっすぐな思いが次々と寄せられました。

議会進行を通じて、町政の役割や意思決定の流れを肌で感じ取ってくれたようでした。

児童たちが町政にふれるこのような機会は、政治を身近に感じるきっかけになるだけでなく自分たちの暮らしや地域への関心を深める第一歩となります。町の未来を担う若い世代のまなざしに、議会としても大きな励ましを受けました。今後もこうした機会を大切にしていきたいと考えています。



傍聴後の
感想
スペースの関係で
抜粋とさせていただきます。



北小学校のみなさん、貴重なご感想をありがとうございました!!

すべてのことがはやく進んでいてとてもスムーズでした。私たちのために議会をやってくださっているというしんげんさが伝わってきました。

1つの議題でもう少し長いかなと思っていただけですがスピーディに進んでいてびっくりしました。

様々なことについて話をしていたり議長が中心となっていて、カッコよかったです。

しっかり話し合っていていいと思いました。みんながしっかり話を発表していました。

ほかの下諏訪町のために話し合っていることがとても分かりました。ありがとうございました!!

子育ての問題、子どもに関する事、小中学校1人1台タブレット導入についてなど色々な議題が話し合われていました。中には自分が興味をもったものもありました。

初めてほうちょう席で開く議事では下諏訪のことについて話していることがわかった。

議会を傍聴して議員さんがとてもやさしくて、よく話を聞いてくれたことがとてもよかったです。

少し早く議会が終わってびっくりしました。今回は早かったけれどもう少し長く話し合ってもいいと思いました。